

## 旧宍倉小学校施設転用整備事業について（報告）

### 1 転用整備の方針（概略）

市内に分散する保健・福祉に関する全市的な機能の集約や新たなサービス提供など、幅広い意味での健康増進の拠点の中心として、さらには、地域住民のコミュニティ活動の場としての利用に対応するため、仮称を「かすみがうら市ウエルネスプラザ」として、旧宍倉小学校施設を多目的な公共施設に再生する。

### 2 基本設計業務受託事業者の選考経過

- (1) 受託事業者の選考方法 公募型プロポーザル方式
- (2) 選考の経過
- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| ・実施要項の公表、応募受付開始      | 平成 29 年 10 月 5 日 |
| ・プロポーザル参加表明期限（9 社応募） | 〃 10 月 17 日      |
| ・第一次選考の結果通知（7 社選定）   | 〃 10 月 24 日      |
| ・プレゼンテーションの実施及び審査    | 〃 11 月 24 日      |
- (3) 契約の相手方 株式会社横須賀満夫建築設計事務所（水戸市）
- (4) 履行期間 平成 29 年 12 月 20 日から平成 30 年 3 月 15 日まで
- (5) 契約額 3,780,000 円（税込み）

### 3 基本設計（案）の概要

別添のとおり

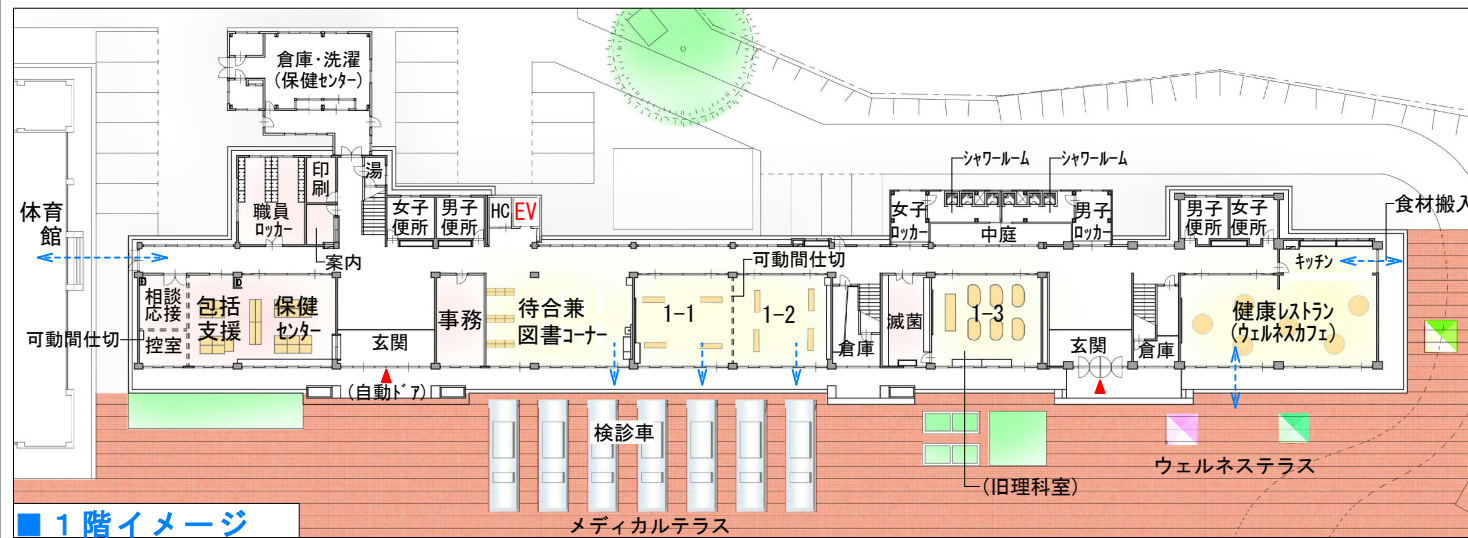
### 4 今後の整備スケジュール

- |           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| ・平成 29 年度 | 基本設計                               |
| ・平成 30 年度 | 実施設計、確認申請<br>プール解体工事（補正予算による対応を検討） |
| ・平成 31 年度 | 改修工事、外構工事                          |
| ・平成 32 年度 | 供用開始準備、オープン                        |

以 上

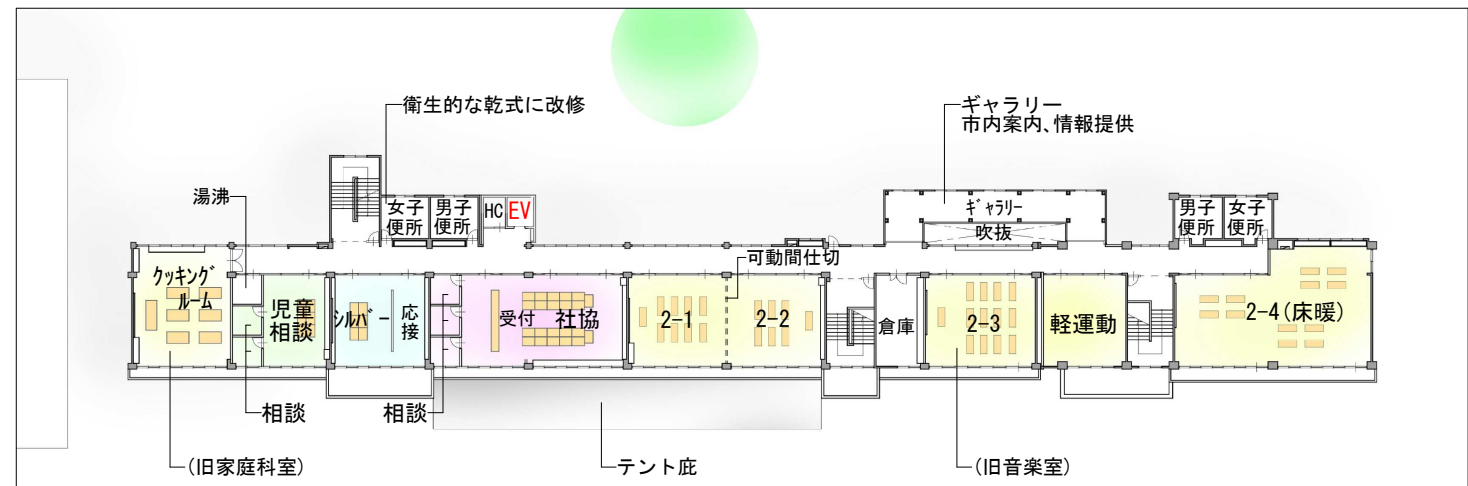
### 集い・学び・交流を促すウェルネスプラザ

近年、少子高齢化の急速な進展により、保健福祉施設に関するニーズが多様化しています。旧小学校の機能を活かしながら保健・福祉に関するサービスを中心に、様々なコミュニティ形成のできる複合施設を整備します。



#### 1階イメージ

- 保健センター**
  - 1階の管理しやすい位置
  - 既存校舎の防災機器を活かせる位置
- 地域包括支援センター**
  - 保健センターとの連携が取りやすく外出がしやすい位置
- 待合兼図書コーナー**
  - 健康づくりに関する書籍などの配置された待合スペース
- 1-1~3**
  - 多目的室として整備し、検診や研修に活用
  - 旧理科室はその機能を活かして、学芸員や子ども会による歴史や実験講座
- 健康レストラン (ウェルネスカフェ)**
  - テラスや菜園と連携して食育を通した市民交流の場 (簡易キッチンの設置)
  - 料理教室、地域特産品の開発など



#### 2階イメージ

- 家庭児童相談窓口**
  - プライバシーを守りやすい位置
  - 各種相談スペースを2室整備
- シルバー人材センター**
  - 2階に独立して配置
  - 各種相談、打合せに対応可能
- 社会福祉協議会**
  - 各種相談スペースを3室整備
  - 作業所は別棟で計画
- キッチンルーム (旧家庭科室)**
  - 既存調理台を活かした活動スペース
  - 児童相談と連携して離乳食講座など
- 軽運動室**
  - マット運動など軽運動のスペース
- 2-1~4**
  - 会議、講座、機能訓練などに対応
  - 公民館活動、税申告の場としても利用可能
  - 2-4は床暖対応とし、乳幼児検診や講座

#### 配置の基本的な考え方

既存のインフラや工作物を活かす計画とします。

- 歩車分離を確立し歩行者の安全を確保します。
- 既存石碑は移設保存します。
- 敷地内緑化を図り砂塵や照返しを防止します。
- 検診バス7台分の寄り付きスペースを整備。(検診室からの直接的な出入りに配慮)
- 周遊道を整備し、ジョギングやメンテナンスに活用。



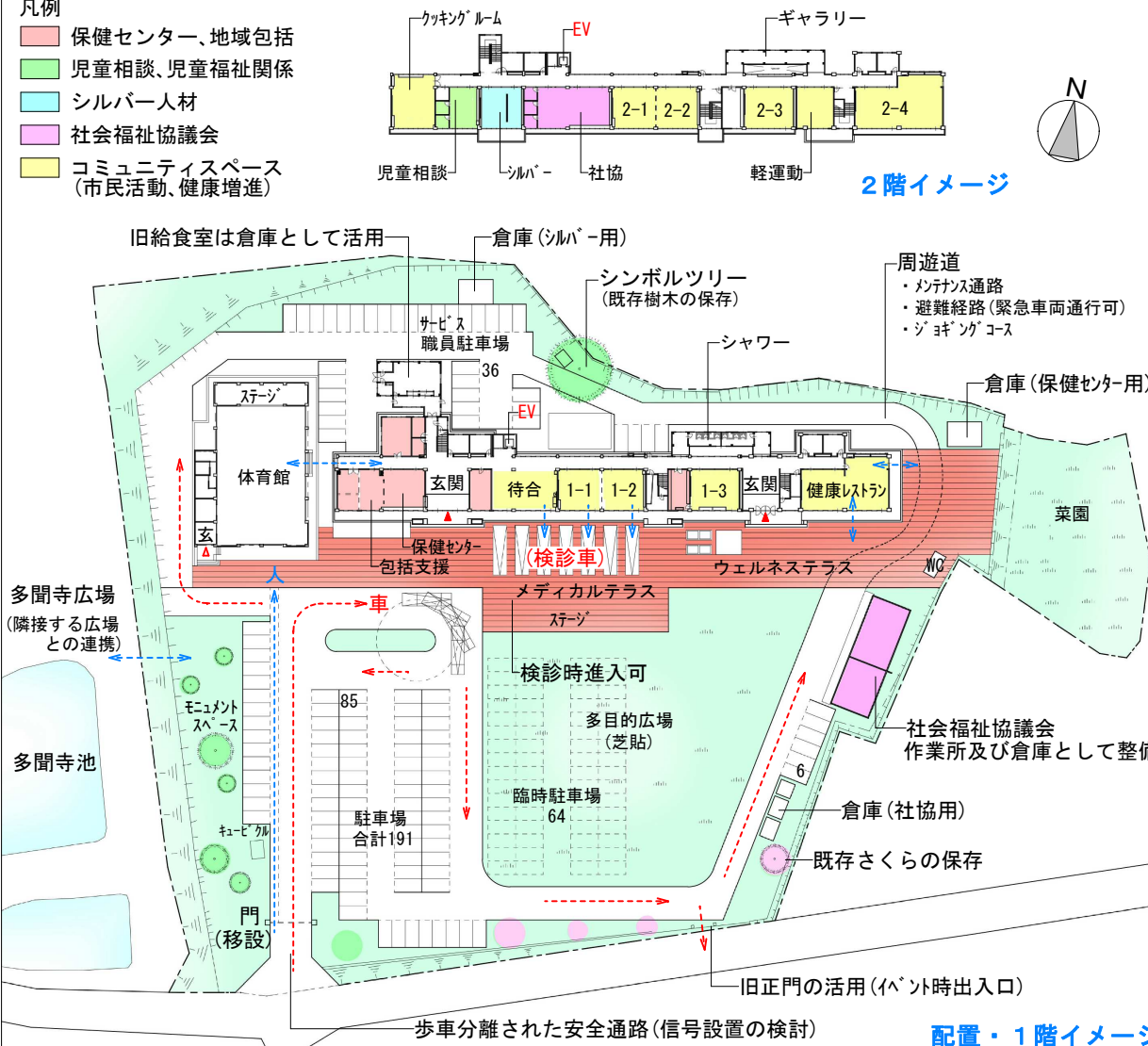
#### 平面の基本的な考え方

旧小学校という機能を活かしながら、市民が気軽に集い・学び・交流することのできる施設づくりを目指します。

- 市内施設の劣化度や利用者数の動向に配慮した諸室配置とします。
- 既存の間仕切りや家具を活かした計画とします。
- 事務エリアは校舎西側にまとめ管理のしやすさに配慮します。
- 内外空間の連続性に配慮した計画とします。

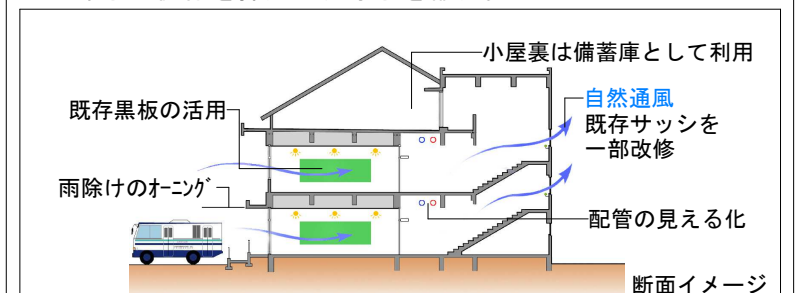
凡例

- 保健センター、地域包括
- 児童相談、児童福祉関係
- シルバー人材
- 社会福祉協議会
- コミュニティスペース (市民活動、健康増進)



#### コスト削減と長寿命化 (エコ保健センター)

- 既存の家具、間仕切り、サイン等を活かした改修計画。(廃棄物の削減、工期短縮)
- LED照明、人感センサー照明を採用しランニングコストを低減。
- 設備配管に見える化を図り日常的な点検のしやすさに配慮。
- 段差の解消や多目的便所を整備し安心安全を確保。
- 節水型便器を採用し洗浄水を削減。



- 既成品を活用し建設廃材を削減。
- 雨水タンクを設置し、植栽の散水に活用。
- 自然通風を確保し機械に頼り過ぎず快適な環境を創出。

#### 防災の拠点として

- 1次避難 (避難場所の確保)
  - 多目的広場や駐車場を避難場所として開放します。
- 2次避難 (避難生活場所の確保)
  - 調理台や菜園を活かし炊出しのできる場とします。
  - 諸室やシャワールームは、避難生活にも対応した配置とします。

#### 工程計画

	H29	H30	H31	H32
基本設計				
実施設計 (5~11)				
確認申請				
ブルー解体工事 (12~3)				
発注準備				
改修工事・外構工事 (7~2)				
準備・オープン				

#### 地域コミュニティの形成

保健福祉施設として様々な世代が集う場として市民の多様な交流のできるものとします。

- 既存廊下を活かし、市内イベントや作品展示のギャラリーを整備し、市民交流を推進します。
- 菜園を活かした農業指導などにより、農業者と市街地住民などが交流できる場とします。
- 市内の農作物を活かした食育や特産品の開発などを通じ、地場産業の活性化に寄与します。

#### 温かみのある空間

- 自然素材や木材を使用し、保健福祉施設として温かみのある空間とします。
- 木材を使用することで、CO2排出量の削減にも寄与します。

